

スマイル・コンサート

さぼりと21
こども音楽食堂

入場無料
4歳以上入場可



2026年3月7日 土

開演 14:00 (開場 13:00)

東京芸術劇場 コンサートホール

(池袋駅西口より徒歩約2分) ※専用駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

出演者

オーケストラ：
パシフィックフィルハーモニア東京

指揮：河合尚市



司会：西端ちひろ



プログラム

- モーツァルト：アイネクライネナハトムジークより
- 久石 譲：となりのトトロメドレー
- 高橋宏樹編：運動会メドレー
- YOASOBI：アイドル
- エルガー：威風堂々 第一番
- カバレフスキー：進化師 (ナレーション付き)



ご入場にはチケットが必要です

本コンサートは「入場無料」ですが、ご入場いただくにはチケットが必要です。
ご鑑賞をご希望される方は、右記QRコードよりチケットをお申し込みください。

◎お申し込み期限：2026年3月4日(水)まで

【ご注意】

- ・対象年齢：4歳以上からご入場いただけます。
- ・座席は、「全席指定席」になります。おひとりあたり1枚のチケットが必要です。
- ・入場定員（500名）があります。定員に達し次第、募集を締め切らせていただく場合があります。
- ・出演者、プログラムは、予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

入場チケット
お申し込みフォーム



出演者プロフィール



Camrgraphy

指揮：河合尚市

東京芸術大学卒業後、これまでに、劇団四季（ミュージカル『オペラ座の怪人』日本初演、ミュージカル『ウェストサイド物語』）、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団等と共演。また、日本屈指のパレエ指揮者として松山パレエ団、谷桃子パレエ団等、日本を代表するパレエカンパニーの公演を指揮。浜松ジュニアオーケストラ音楽監督を務めるなど長年青少年の育成にも尽力。2005年～2020年、尚美学園大学教授として後進の指導にあたった。

現在、浜松Open Art エグゼクティブ音楽プロデューサー、戸田市文化芸術推進審議会委員、尚美学園大学名誉教授。
第4回「浜松ゆかりの芸術家顕彰」受賞。令和7年度下総統一音楽賞（音楽文化貢献部門）受賞。



司会：西端ちひろ

MC、ナレーター、舞台俳優として15年以上のキャリアを持ち、うたのお姉さんとしても子ども向けステージを多数こなすプロフェッショナル。明るく透き通った声と、会場を一体化させる卓越した進行スキルに定評がある。

千葉県内大手テーマパークにて数多くのショーにメインキャストとして長年出演し、その安定感のある演技で幅広い年代から親しまれる存在となった。そのほか『妖怪ウォッチ』NHKアニメ『ピンポン』『うっかりペネロペ』『がんばれ！ルルロロ』『ミッフィー』など、人気キャラクターのステージショーを数多く担当。現在はステージ活動のほか、CMナレーションやイベントMC、ラジオパーソナリティなど、多彩な活動を通じて親子に笑顔を届けている。



Ofakashi Fujimoto

オーケストラ：パシフィックフィルハーモニア東京

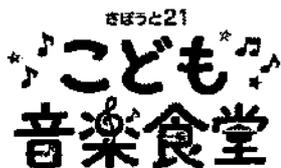
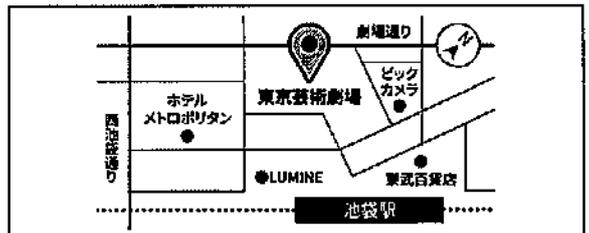
1990年設立。定期演奏会をはじめとする自主公演を軸に、音楽鑑賞教室、オペラ、パレエ、レコーディング、放送出演など、多岐にわたる演奏を展開する。ポピュラー音楽、映画、アニメ、ゲーム音楽のコンサートにも積極的取り組み、多彩なジャンルのアーティストと共演の場を広げている。2018年からは楽団誕生の地である練馬区で「練馬定期演奏会」を開始。2022年、飯森範親の音楽監督就任とともに、楽団名を「パシフィックフィルハーモニア東京」へ改称。子どもたちに音楽を届ける取り組みを大切な活動指針とし、多数の奏者が呼吸を合わせ一つの響きを創り上げるオーケストラならではの調和の姿を伝えることを命題に、地域や教育の現場に寄り添い、日々の演奏を地道に積み重ねている。

■音楽監督：飯森範親 ■指揮者：園田隆一郎 ■ポップスエグゼクティブプロデューサー：藤原いくろう

会場

東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
池袋駅(JR・東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線／東武東上線／西武池袋線)
西口徒歩2分 駅地下通路2b出口と直結



こども音楽食堂について

現代日本における「子どもの貧困」は、食事の欠乏だけでなく、文化・芸術に触れる「体験の格差」としても深刻化しています。本プロジェクトは、社会福祉法人さぼうと21の支援ノウハウと、オーケストラの芸術性を融合させ、子どもの心身に栄養を届けることを目的とします。

社会福祉法人さぼうと21

社会福祉法人さぼうと21は、日本に定住するインドシナ難民、多国籍難民、中區帰国者、日系定住者及びその子弟などの自立を支援する団体であり、インドシナ難民の日本への定住支援を目的として1979年に設立された「インドシナ難民を助ける会」(現・AAR Japan [認定NPO法人難民を助ける会])の事業を引き継ぎ、1992年に社会福祉法人として設立されました。